

# 小田原市新病院建設基本計画（素案）【概要版】

資料 2-3

平成30年12月に策定した「小田原市立病院再整備基本構想」等をもとに、新病院の機能や諸室の設定、運用と建設条件を整理した基本計画を策定しました。引き続き、設計や道路の整備を進め、令和8年（2026）年度の開院を目指します。」

## ■ 全体計画（P2～）

### ● 新病院のあるべき姿

- 患者に信頼される病院
- 急性期医療を担う病院
- 地域医療連携の強化
- 働く魅力のある病院
- 経営の健全化

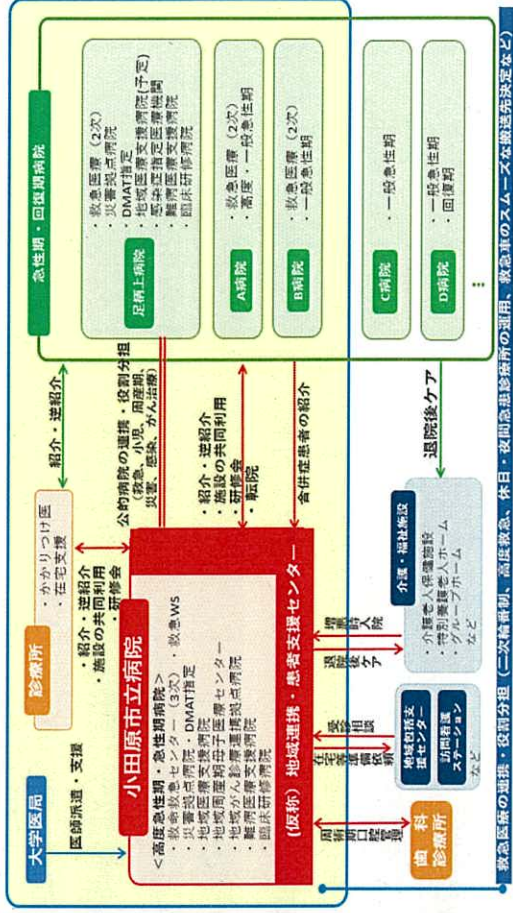
### ● 新病院の基本的事項

- 診療科構成 ▷ 医療ニーズや医療資源の状況に応じて対応（参考 R2.9.1現在26診療科）
- 病床数 ▷ 417床→400床程度（重症病床、救急病床含む）
- 重症病床の充実 ▷ ICUを増床、救急病床合わせて50床程度
- 外来患者数 ▷ 救急患者、紹介患者や専門外来患者を中心に診療
- 手術室の増室 ▷ 8室→10室程度

### ● 新病院の役割・機能

- 地域医療支援病院 ▷ 地域の医療の確保を支援
- 救命救急センター ▷ 県西二次医療圏内唯一・24時間体制受入
- 地域がん診療拠点病院 ▷ 手術・化学療法・放射線療法実施
- 小児医療 ▷ 24時間体制で新生児・小児救急対応
- 地域周産期母子医療センター ▷ 24時間体制でハイリスク分娩対応
- 災害拠点病院 ▷ 災害発生時に診療機能維持・傷病者受入
- 教育・研修病院 ▷ 医療人材育成・総合的診療体制維持
- 新感染症対策 ▷ 指定医療機関協力・感染を抑制する施設

## ＜ 地域医療連携のイメージ ＞



## ■部門計画 (P11～)

### ▶ (仮称) 地域連携・患者支援センター

- ・医療や福祉、介護の相談支援部門を集約、患者支援体制の一元化
- ・利用者がアクセスしやすいようエントランス付近に配置
- ・地域の医療従事者等との研修機会充実  
(研修センター機能、おだわら総合医療福祉会館の利用等の連携)
- ・地域住民の健康増進に繋がるイベントやシステムの検討
- ・ベクトロントロールのセンター化
- ・地域介護福祉連携ネットワーク構築への協力を視野

### ▶ 外来部門

- ・外来受付、外来診療室のプロック化／一般的処置の中央化
- ・プライバシー等に配慮した分かりやすい診察案内表示システム導入
- ・待ち時間の有効活用のためカフェ等利便施設を近接配置
- ・感染症患者対応のため隔離待合室、診察室を配置

### ▶ 救急部門 (救命救急センター)

- ・迅速な画像診断を行うため専用的一般撮影装置・CT装置を設置
- ・屋上ヘリポート設置と専用エレベーターによる直接アクセス
- ・感染症患者対応のため隔離待合・診察室・トリアージスペース設置
- ・災害時対応として待合エリア等に医療ガスアウトレット等設置

### ▶ 病棟部門

- ・療養環境・治療環境向上のため1床あたり8㎡以上の面積を確保
- ・4床室と個室を基本とした病床構成とし、個室率は大幅に高める
- ・NICUには家族中心のケアを目的として家族が宿泊可能な室を整備
- ・産科病棟には陣痛室・分娩室・回復室が一体となったLDRを設置
- ・患者管理や移動短縮を考慮した位置にスタッフステーションを配置

### ▶ 手術部門

- ・手術室の機能強化
- ・先進的な医療技術の導入可能な拡張性のある計画
- ・感染対策のため陰陽圧の切り替えが可能な手術室を整備

### ▶ 化学療法部門

- ・外来通院による化学療法の強化のためベッドの増床 (9床→16床)

### ▶ 放射線部門 (画像診断／放射線治療)

- ・PET/CT、SPECT/CTによる核医学検査を実施
- ・リニアック装置による高度な放射線治療を実施
- ・心臓血管疾患、脳卒中診断・治療強化のため血管撮影装置の増設

### ▶ その他、中央材料部門、臨床検査部門、病理診断部門、臨床工学部門、人工透析部門、リハビリテーション部門、薬剤部門、栄養部門、医療情報管理部門、事務管理部門、医療安全管理部門、感染対策部門等、全19部門の配置・運用

## ■医療機器整備計画 (P24～)

- ・技術革新や医療情勢の変化に対応する医療機器の導入を想定

## ■医療情報システム計画 (P28～)

- ・患者サービス向上や業務効率化を図る医療情報システムを拡充

## ■物流管理システム計画 (P30～)

- ・機械による搬送設備の有効活用により搬送業務を効率化

## ■医療情報システム計画 (P32～)

- ・業務効率と患者サービスの向上、費用の適正化を図り経営の健全化

## ■ 建設計画 (P33～)

### ● 新病院の整備方針

#### ▶ 患者中心の施設整備

- ・ユニバーサルデザインの採用・分かりやすい配置・スムーズな動線確保・バリアフリー・医療安全・感染管理
- ・プライバシーの確保・明るく落ち着きのあるデザイン・生活時間の有効活用のためのカフェ設置 など

#### ▶ 地域の医療を守る施設整備

- ・当院に求められる役割・機能を十分発揮・地域の医療機関や福祉施設等との連携促進・医療制度改革や医療技術の進歩
- ・医療ニーズの変化対応・ICT/IOT等将来の技術革新や働き方の変化に柔軟に対応できる施設 など

#### ▶ 職員が育つ・働きやすい施設整備

- ・機能的な施設配置と効率的な業務動線確保・教育訓練や部門間・多職種間のコミュニケーションと情報共有の推進
- ・子育て中の職員が安心して勤務・セキュリティの充実による安全・安心して働ける施設 など

#### ▶ 災害に強い施設整備

- ・対規模災害時におけるライフライン途絶も想定し、医療機能が維持できる構造・設備・災害を想定した備蓄スペース
- ・DMAT活動拠点スペース・トリアージスペース・処置スペース・医療ガス設備などの適切な配置 など

#### ▶ 経済性を考慮した施設整備

- ・スペース効率と効率的な人員配置・省エネルギー設備等の採用や運用・LCC低減、PPP活用 など

### ● 建設地

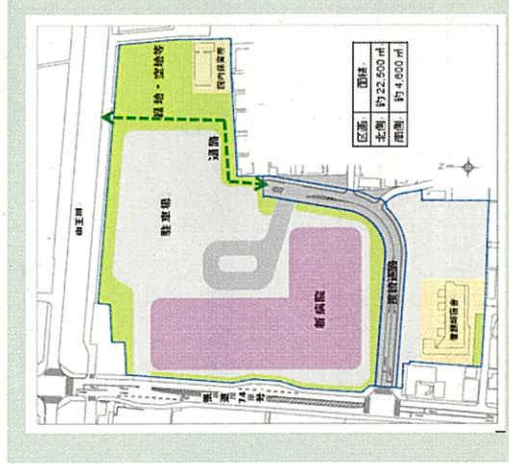
小田原市久野46番地外

### ● 建築規模

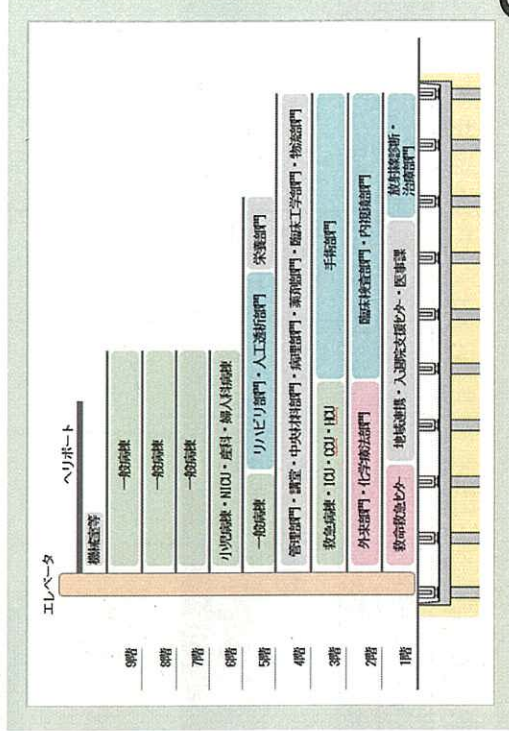
病床規模：400床程度  
延床面積：約40,000㎡  
付帯施設：ヘリポート、駐車場、  
院内保育所（既設）等

**注) 実際の規模・配置等は設計段階で決定します。**

### ● 建物配置計画



### ● 階層構成



## ■整備手法 (P46～)

・既存敷地内の限定されたエリアで診療を継続しながら施工するなど現場の制約が多いため、施工者独自のノウハウを反映した現場条件に適した設計や施工者の固有技術を活用した合理的な設計による建設費の縮減、工期の短縮にも繋がる発注方式とします。

・大規模な病院建設事業は、計画から完成まで長期間を要するため、その間に生じる医療制度の変更や医療技術の進歩に柔軟に対応できる契約方式とします。

・発注にあたっては、地域に貢献できる方式を検討します。

## ■事業収支計画 (P49～)

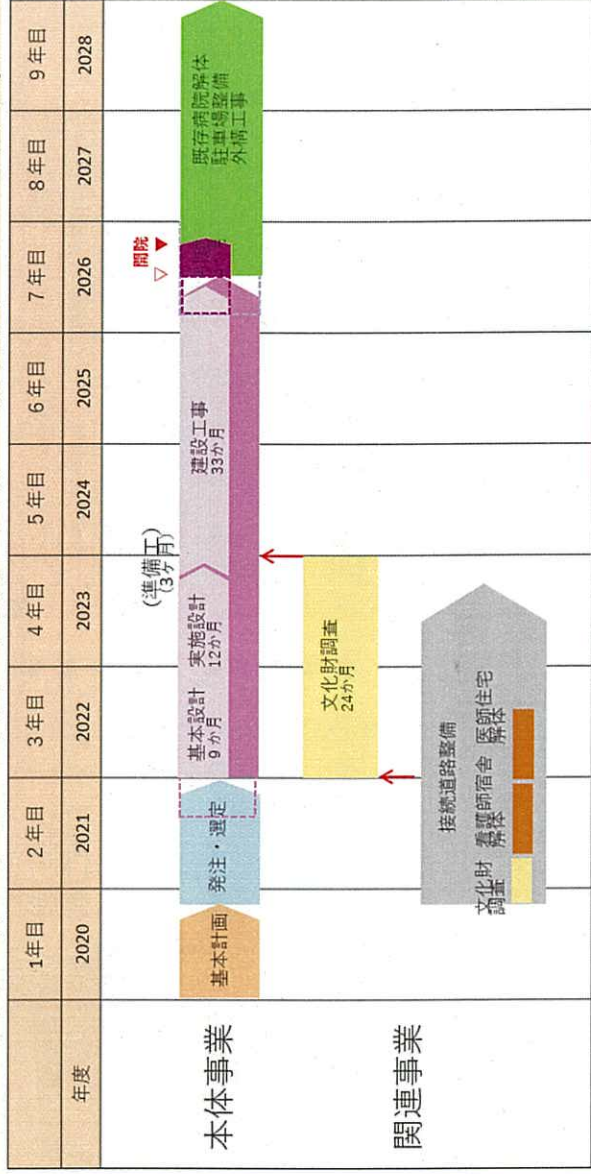
### ●本体事業費

本体工事費	198億円
付帯工事費	15億円
解体費	12億円
設計費等	10億円
調査費等	0.5億円
医療機器等	40億円
<b>合計 (税込)</b>	<b>276億円</b>

※上表のほか文化財調査や接続道路整備等の関連事業費は、約12億円 (税込) を見込みます。

## ■事業スケジュール (P48～)

・2024年度の着工、2026年度の開院を目標に取り組んでいきます。



### ●収支シミュレーション

・一般会計負担金は、病院事業全体で、約16～23億円で推移する予定です。

	R9年度 (2025)	R10年度 (2027)	R11年度 (2028)	R12年度 (2029)	R13年度 (2030)	R14年度 (2031)	R15年度 (2032)	R16年度 (2033)	R17年度 (2034)	R18年度 (2035)	R19年度 (2036)
病院事業収益(a)	14,100	15,281	15,316	15,360	15,394	15,376	15,354	15,334	15,313	15,293	15,225
医業収益	12,707	13,827	13,864	13,901	13,937	13,922	13,906	13,891	13,875	13,860	13,797
医業外収益	1,393	1,454	1,452	1,459	1,457	1,454	1,448	1,443	1,438	1,433	1,428
病院事業費用(b)	14,452	15,815	15,962	15,897	15,575	15,596	14,740	14,767	14,793	14,840	14,824
医業費用	13,650	14,796	14,947	14,865	14,548	14,575	13,801	13,838	13,874	13,931	13,926
医業外費用	802	1,019	1,015	1,032	1,027	1,021	939	929	919	909	898
経常損益(c)=(a)-(b)	▲352	▲534	▲646	▲537	▲181	▲220	614	567	520	453	401
特別損益(d)	▲166	▲2950	▲92	▲92	▲92	▲92	▲92	▲92	▲92	▲92	▲92
総損益(c)+(d)	▲518	▲3484	▲738	▲629	▲273	▲312	522	475	428	361	309
資本的収入(e)	11,389	173	1,587	401	656	976	588	529	645	544	544
資本的支出(f)	12,217	397	2,371	893	1,246	1,851	1,029	939	1,125	1,046	1,103
収支(g)=(e)-(f)	▲828	▲224	▲784	▲492	▲590	▲875	▲441	▲410	▲480	▲502	▲559
一般会計負担金	1,491	1,553	2,122	1,947	2,061	2,375	1,933	1,869	1,888	1,874	1,869